



追加型投信／国内／株式

日経平均高配当利回り株ファンド

決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2022年6月15日

平素は「日経平均高配当利回り株ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当ファンドは2022年6月15日に決算を迎え、当期の分配金(1万口当たり、税引前)を280円としたことをご報告申し上げます。当ファンドは、主として、日経平均株価採用銘柄の中から、予想配当利回りの上位30銘柄に投資を行うことを基本としています。

当期の国内株式市場は、米国の急速な金融引き締めに対する警戒感や、深刻化するウクライナ情勢の世界経済に及ぼす影響等から期央にかけて下落する場面があるなど、振幅のある展開となりました。

2022年3月初旬にかけて、国内株式市場は米国の急速な金融引き締め観測などから上値の重いなか、ウクライナ情勢の緊迫化や、これに伴うロシアへの経済制裁を背景に資源価格が上昇したことなどが嫌気され、軟調となりました。3月中旬以降、資源価格の上昇一服感、円安・米ドル高の進行などが好感され上昇する場面もあったものの、米金融政策やウクライナ情勢を巡る先行き不透明感は根強く、加えて新型コロナウイルスの感染拡大と一部地域での都市封鎖が続く中国経済の先行き不安などから、国内株式市場は上値の重い展開となりました。

足下では金利上昇などへの懸念から、これまで市場のけん引役となっていた成長株の相対的優位性が低下しつつあるとみています。一方、株主還元姿勢を強める国内企業も少なくなく、利益成長に伴って高い配当を出す企業も散見されており、割安株へと物色の中心が移るなかで、配当利回りに着目した投資選好は強まるものと考えています。

今後とも、保有銘柄の信用リスクや配当利回り水準の動向に留意し運用してまいります。

引き続き当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

分配金と基準価額と予想配当利回り(2022年6月15日)

分配金 (1万口当たり、税引前)	280 円
基準価額 (1万口当たり、分配落ち後)	10,701 円
予想配当利回り (2022年5月末)	5.6 %

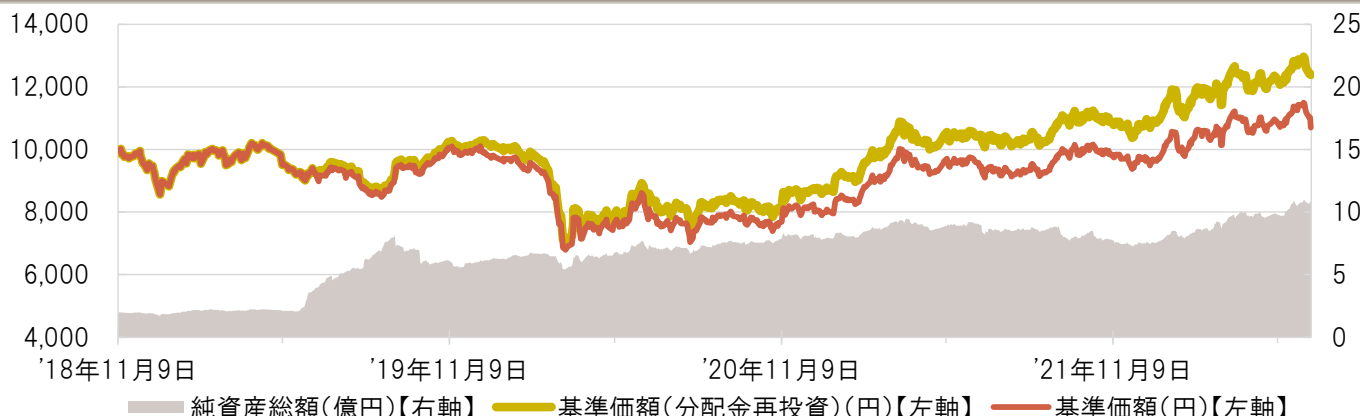
【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

決算期	決算日(年月)	分配金
第7期	2022年6月	280 円
第6期	2021年12月	180 円
第5期	2021年6月	170 円
第4期	2020年12月	190 円
第3期	2020年6月	190 円
設定来累計		1,350 円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・各銘柄の予想配当利回りは日経NEEDSのデータを基に算出しています。・当ファンドの予想配当利回りは、各銘柄の予想配当利回りを純資産総額に対する組入比率で加重平均して算出しています。よって当ファンドの将来の分配をお約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

基準価額等の推移(期間:2018年11月9日(設定日)～2022年6月15日)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

日経平均高配当利回り株ファンド

当ファンドにおける当期の分配金額算出について

以下の通り、配当収益(経費控除後)の水準を勘案して、当期の分配金額を決定しました。

当期(税引前)の 分配金	÷	基準価額	×	経費控除後の予想配当利回り 5.007% (予想配当利回り 5.7% ー運用管理費用 年0.693%(税込))	÷	決算回数
280円		11,459円				年2回

・当期の分配金を決定するにあたって、基準価額は6月8日時点の値、また予想配当利回りは2022年4月28日時点の値を利用しました。

・上記は当期の分配金額の決定した根拠をお知らせするために表示したものであり、将来の分配金額を示唆、保証等するものではありません。

<ご参考>配当利回りとは？

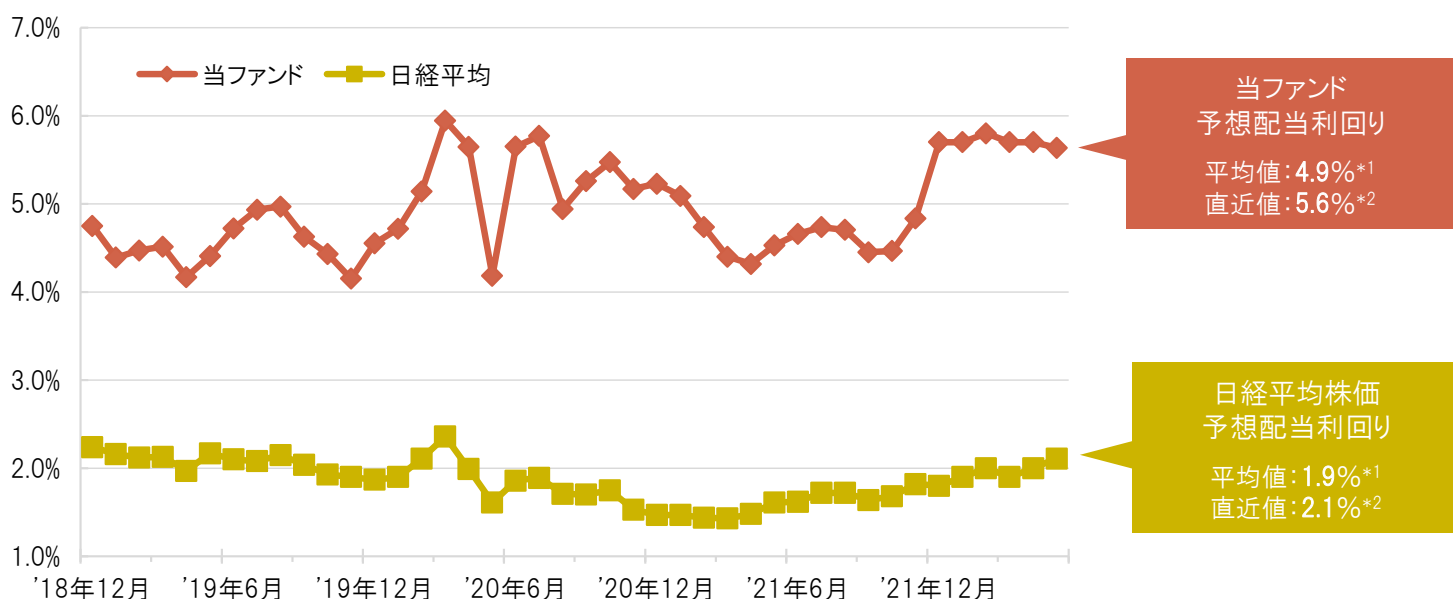
配当とは企業が得た利益の一部を出資者である株主に還元するお金のことで、配当利回りは株価に対する1株あたり年間配当額の割合を示す指標です。

例えば、現在株価が1,000円で、1株あたり年間配当額が10円であった場合は、配当利回りが1%となります。

1株あたり 年間配当額	=	株価	×	配当利回り
10円		1,000円		1.0%

・配当利回りは株価と配当額の変動に左右されます。・当ファンドでは、予想配当利回りを用いています。

当ファンドと日経平均株価の予想配当利回りの推移(期間:2018年12月～2022年5月、月末値)



(出所) 日本経済新聞社のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

*1 平均値は2018年12月～2022年5月の月末の予想配当利回りの値を平均した値です。*2 直近値は2022年5月末の予想配当利回りの値です。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■各銘柄の予想配当利回りは日経NEEDSのデータを基に算出しています。■当ファンドの予想配当利回りは、各銘柄の予想配当利回りを純資産総額に対する組入比率で加重平均して算出しています。よって当ファンドの将来の分配をお約束するものではありません。■日経平均株価の予想配当利回りは日経平均株価採用全銘柄の予想配当利回りの加重平均です。(指数ベース)■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

日経平均高配当利回り株ファンド

当ファンドの組入銘柄の予想配当利回り(2022年5月末時点)

組入銘柄数: 29銘柄

	銘柄	業種	組入比率	予想配当利回り
1	川崎汽船	海運業	7.6%	2.9%
2	日本郵船	海運業	7.0%	9.9%
3	商船三井	海運業	6.9%	10.2%
4	日本製鉄	鉄鋼	6.1%	7.1%
5	武田薬品工業	医薬品	6.1%	4.9%
6	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.8%	4.4%
7	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	5.3%	5.3%
8	ソフトバンク	情報・通信業	5.1%	5.8%
9	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	5.1%	5.6%
10	日本郵政	サービス業	5.0%	5.2%
11	ジェイ エフ イー ホールディングス	鉄鋼	4.5%	6.9%
12	日本たばこ産業	食料品	4.3%	6.4%
13	ENEOSホールディングス	石油・石炭製品	4.2%	4.2%
14	野村ホールディングス	証券、商品先物取引業	3.6%	6.9%
15	丸紅	卸売業	3.0%	4.4%
16	住友商事	卸売業	2.4%	4.9%
17	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	保険業	2.2%	4.5%
18	りそなホールディングス	銀行業	2.1%	4.4%
19	住友化学	化学	2.0%	4.5%
20	双日	卸売業	1.5%	5.5%
21	コニカミノルタ	電気機器	1.4%	4.6%
22	大和証券グループ本社	証券、商品先物取引業	1.2%	5.3%
23	あおぞら銀行	銀行業	0.8%	5.8%
24	ふくおかフィナンシャルグループ	銀行業	0.8%	4.8%
25	長谷工コーポレーション	建設業	0.6%	5.2%
26	コンコルディア・フィナンシャルグループ	銀行業	0.6%	4.4%
27	UBE	化学	0.5%	5.0%
28	日本軽金属ホールディングス	非鉄金属	0.2%	5.4%
29	松井証券	証券、商品先物取引業	0.2%	4.9%
30	—	—	—	—

・原則として組入比率は純資産総額に対する割合です。・各銘柄の予想配当利回りは日経NEEDSのデータを基に算出しています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、組入全銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種は、東証33業種で分類しています。

【本資料で使用している指数について】

■日経平均株価

日経平均株価(日経225)とは、東京証券取引所プライム市場上場銘柄のうち代表的な225銘柄を対象として日本経済新聞社により算出、公表される株価指数です。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は本商品を保証するものではなく、本商品について一切の責任を負いません。

【1分で解説】
「日経平均高配当利回り株ファンド」

動画公開中です！



■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

日経平均高配当利回り株ファンド

追加型投信／国内／株式

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

わが国の株式を主要投資対象とし、主として配当収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 わが国の株式を主要投資対象とします。

- ・主として、日経平均株価に採用されている企業の株式に投資を行います。
- ・株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

特色2 主として、日経平均株価採用銘柄の中から、予想配当利回りの上位30銘柄に投資を行います。

- ・投資にあたっては、流動性を勘案して銘柄ごとの組入比率を決定します。
- ・信用リスク懸念や無配懸念があると委託会社が判断した銘柄は、投資対象銘柄から除外することがあります。また、当該銘柄を保有している場合は売却し、保有銘柄数は30を下回ることがあります。
- ・原則として6・12月にリバランス(組入銘柄の入替えと組入比率の調整)を行います。
- ・日経平均株価採用銘柄の変更が判明している場合は、変更後の採用銘柄の中から予想配当利回りの上位30銘柄を選択します。
- ・組入れた30銘柄は原則、次回リバランス時まで保有します。

特色3 年2回の決算時(6・12月の各15日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

- ・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配対象収益とは、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等をいいます。

分配金額の決定にあたっては、配当収入(経費控除後)の水準を勘案します。

* 分配金額の決定にあたっては、予想配当利回りを用いて配当収入を計算します。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。
信用 リスク	株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。
流動性 リスク	株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

日経平均高配当利回り株ファンド

追加型投信／国内／株式

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	2028年6月15日まで(2018年11月9日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年6・12月の15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限2.20%(税抜 2.00%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率0.693%(税抜 年率0.63%) をかけた額
その他の費用・手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 日経平均高配当利回り株ファンド

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○